

平成16年4月23日

各位

会社名 ジャニス工業株式会社
代表者名 取締役社長 井上 光弘
(コード番号 5342 名証第2部)
問合せ先 経営管理部長 井上 謙二
(TEL 0569-35-3150)

固定資産減損会計の早期適用および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成16年4月23日開催の取締役会において、固定資産の減損会計を平成16年3月期決算から早期適用することを決定いたしました。これにともない特別損失が発生する見込みとなったことと、最近の業績の動向等を踏まえ、平成15年11月17日の中間決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 固定資産の減損に係る会計基準の早期適用について

当社は、「固定資産の減損に係る会計基準」を平成16年3月期より早期適用することとし、固定資産減損損失1,148百万円を特別損失に計上いたします。

(1) 対象資産の概要

【対象資産】	【減損見込額】
茨城工場 (建材工場)	514百万円
大曾工場 (建材工場)	372百万円
武豊富貴工場用地 (遊休土地)	17百万円
防府土地建物 (休止工場)	243百万円

(2) 減損会計早期適用の理由

当社収益構造の大幅改善、セラミックパイプ事業撤退等を勘案しバランスシートの健全化を図るため、固定資産減損会計を早期適用することと致しました。

2. 平成16年3月期業績予想の修正について

(1) 平成16年3月期業績予想数値の修正(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

(単位:百万円 %)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成15年11月17日発表)	6,000	50	100
今回発表予想(B)	5,965	132	1,545
増減額(B-A)	35	182	1,445
増減率(%)	0.6	-	-
(ご参考) 前期(平成15年3月期)実績	6,213	96	373

(2) 理由

売上高につきましては、衛生機器部門は予想を上回りましたが、建材部門は公共工事予算縮減の影響を受け予想を下回りました。経常利益につきましては、粗利率が高い建材部門の売上減少、価格競争の激化による販売価格の低下、コストダウンの未達等の理由から、前回発表予想より182百万円下回り、132百万円の損失となる見込みです。

また、前回発表予想では、特別損失として希望退職に伴う費用106百万円、役員退職慰労金40百万円、固定資産除却・売却損38百万円等を見込んでおりましたが、これらに加えて以下の特別損失を計上する予定です。従いまして、当期純利益は前回発表予想より1,445百万円下回り、1,545百万円の損失となる見込みです。

【新たに発生する特別損失の主な内訳】

・固定資産の減損損失	1,148百万円
・大量退職処理に伴う退職給付費用	172百万円
・棚卸資産除却損	71百万円
・下水道用セラミックパイプ事業撤退費用	18百万円

なお、期末配当金は、平成15年11月17日に発表いたしましたとおり、誠に遺憾ながら前年と同様に無配とさせていただきます予定です。

3. 平成17年3月期業績予想等について

平成17年3月期業績予想につきましては平成16年5月予定の決算発表時にお知らせしますが、今回の減損会計の早期適用に伴う減損損失の計上および大量退職処理に伴う退職給付費用の計上により、平成16年3月期対比、減価償却費が約100百万円、退職給付費用が約18百万円軽減されます。

また、減損会計の早期適用等に伴い欠損金が発生いたしますので、平成16年6月に開催予定の定時株主総会にて、資本準備金の欠損てん補および無償減資を付議する予定です。なお、今回の資本の減少は「資本の部」内の勘定科目の変更となり、当社純資産額に変化は生じません。また、株式消却、株式併合は行わない予定であり、株式数の変更は生じませんので、1株当りの純資産の額や株主の皆様の会社持ち分、権利にも変化はありません。

減損会計の早期適用、無償減資等により財務体質の改善を図るとともに、下水道セラミックパイプ事業の撤退により、今期以降の収益回復の妨げになる要因を取り除きます。従って、今期以降は確実に黒字を出せる体質を構築し、早期復配の実現を目指してまいります。

以 上